

# 改定診療報酬点数表参考資料 (平成24年4月1日実施) 《正誤表(その6)》

1. 平成24年7月13日付 厚生労働省保険局医療課事務連絡による正誤

ページ	項目	正 誤
第1章 基本診療料		
第2部 入院料等		
88	A212 超重症児 (者)入院診療加算・準超重症児 (者)入院診療加算	<p>(1) 超重症児(者)入院診療加算、準超重症児(者)入院診療加算は、出生時、乳幼児期又は小児期等の15歳までに障害を受けた児(者)で、当該障害に起因して超重症児(者)又は準超重症児(者)の判定基準を満たしている児(者)に対し、算定する。</p> <p>ただし、上記以外の場合であって、療養病棟入院基本料及び有床診療所療養病床入院基本料を除く病棟又は病床においては、<del>平成24年3月31日時点で30日以上継続して当該加算を算定している患者であって、</del>重度の肢体不自由児(者)(脳卒中の後遺症の患者及び認知症の患者は除く。)、<u>脊髄損傷等の重度障害者(脳卒中の後遺症の患者及び認知症の患者は除く。)、重度の意識障害者(脳卒中の後遺症の患者及び認知症の患者については、平成24年3月31日時点で30日以上継続して当該加算を算定している患者に限る。)</u>、筋ジストロフィー患者又は神経難病患者等については、(2)又は(3)の基準を満たしていれば、当面の間、<del>同年4月1日以降も継続して、</del>当該加算を算定できるものとする。</p>